



川のレジャーをより安全に楽しむために

ストップ! 河川水難事故

ゴールデンウィークをかわきりに水辺のレジャーを楽しむ時期に入ります。例年、河川などでの水難事故が多くなるのもこれからの時期です。楽しい時間に事故等が起きないように、正しい知識を身につけましょう。

1 川に行く前に 2 川に着いたら 3 こんな場所は急な増水に注意!

1. 必ず天気や川の情報をチェックしよう。急な雨で、川が増水することもあるぞ!
2. 途中のコンビニなどで、川のパンフレットなどが置いてあれば参考にしよう。
3. 川に入る場合は、ライフジャケットなどの活動に合った準備をしよう。



1. 川に関する看板があれば確認しよう。
2. 地元の人がいれば、川の特徴を教えてください。
3. 川のリアルタイムな情報を確認し、上流の状況についても把握しよう。



1. 川原は、増水の際は川底になるぞ。特に中州にいますと、増水したら取り残されるぞ!



4 すぐに避難!

1. 増水の前兆や、警報が鳴ったら直ちに避難しよう! すぐに水位が上がってくるぞ!

注意報や警報がでたら、すぐに避難! 避難の遅れは事故につながるぞ!



2. パトロールの人たちや警察・消防、河川管理者の注意には必ず従おう。

こんなときはすぐに避難!

1. 山鳴り(山全体がうなるような音)がする。
2. 水かさが増え、濁ったり、流木、落ち葉が流れてくる。
3. 雨が降っているのに、水かさが減っている。
4. 腐った土・火薬のようなにおいがする。



増水時をイメージしよう!

中州は危険!
 増水すると川に取り残されるぞ!

■河川管理者・市町村へ問い合わせる

河川を使用する場合、基本的には自由使用となっていますが、イベントなどの場合には使用願ひなどの申請が必要な場合があります。活動予定の場所で知りたいことがあれば、河川管理者や市町村の担当へ聞いてみましょう。

■川の防災情報を活用しよう

国土交通省では地域ごとの雨量情報だけでなく、河川の水位情報やダムでの放流情報を「川の防災情報」(<http://www.river.go.jp/>)で提供しています。携帯電話でもリアルタイムで利用できます。下見などで現地の川をみたときには、その時の水位を「川の防災情報」でチェックしましょう。当日現地に行く前に、川の状態を調べておくと大いに役立ちます。

川で遊ぶ時のマナー & 注意 事項

★安全な服装



河原や水辺で遊ぶときの服装

- ・帽子をかぶろう
- ・軍手をしよう
- ・動きやすい服装にしよう
- ・濡れてもいい歩きやすい靴をはこう



水に入るときの服装

- ・ライフジャケットを着けよう
- ・濡れてもいい、乾きやすい(ナイロン製など)服装にしよう
- ・ウォーターシューズ、リバーシューズなど濡れても良く脱げない靴をはこう。(ビーチサンダルは脱げて危険!)

水難事故は、水深の深いところだけで起こるものではありません。幼児であれば10センチの水深でも溺れることがあります。背が立つ深さでも自然の環境では流れに足をすくわれたり、地形が急に深くなっていたり、思いもよらない危険と常に隣り合わせです。気象情報に気をつけるとともに、転落の可能性がある場所など危険な箇所には近寄らないようにしましょう。飲酒した場合や体調が悪いときの遊泳はやめましょう。子どもだけの遊泳は行わせないとともに、保護者が同伴の場合でも子供が水から上がるまで確実に見届けましょう。



★危険を避ける

川原などでは、猛毒を持つマムシやスズメバチと出会うことがあります。スズメバチは川原のヤナギやクヌギなど樹液の出ているところにおいて、頭部や目玉など黒いものへ攻撃する性質をもっています。



★急な増水に備えて

上流側に雨雲が見えたり、雷鳴が聞こえたりした時はもちろんのこと、普段流れてこない流木、落ち葉などが流れてきたり、水が冷たく感じたり、水位が急に低くなったときには迷わず川から離れましょう。

★自然環境への配慮

ゴミは必ず持ち帰りましょう。



《平成22年・23年夏期(6月～8月)における水難事故発生状況》 [警察庁 統計より]

区分	平成23年度				平成22年度			
	総数(件)		死者・行方不明者(人)		総数(件)		死者・行方不明者(人)	
	うち子供	うち子供	うち子供	うち子供	うち子供	うち子供	うち子供	
発生件数	694	126	340	35	852	198	443	49
うち河川	225	38	127	11	291	71	150	23
うち宮崎	10		2		17		15	

出張所からメッセージ

川はさまざまな生きものが見られ、子供はもちろん大人にとっても魚釣りや自然観察、水遊び、ボートやイカダなど一年を通じて遊びの場でもあり、学びの場でもあります。しかし、ひとたび水難事故に遭遇するとこうした楽しさは全て奪われてしまいます。事前に危険性を知り安全管理をすることで事故を防ぐことが出来ます。宮崎河川国道のホームページでは河川水位情報など様々な役立つ情報がご覧頂けます。お出かけの際などにもご活用下さい。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/miyazaki/>

